

高知県感染症発生動向調査（週報）

2021年 第29週 （7月19日～7月25日）

日本脳炎ウイルスの感染に注意してください！

高知県衛生環境研究所において、県内で飼育されているブタの血液検査を行ったところ、検査したブタの50%以上が日本脳炎ウイルスに感染していました。この調査結果から、県内のブタやイノシシなどの間で日本脳炎ウイルスが流行していることが考えられます。

これからの時期は蚊の発生が多くなり、蚊を媒介して日本脳炎ウイルスがブタから人に感染する可能性が高くなるので注意してください。

予防対策と注意事項

- 1) 野外で活動する際は、皮膚の露出を避け、防虫スプレー等により蚊に刺されないように注意する。
- 2) 予防接種を受ける。

ただし、令和3年度は、日本脳炎ワクチンの供給量が例年に比べ減少していることから、供給が安定するまでの間、優先接種対象者が設定されています。

＜優先接種の対象＞

全4回接種のうち1回目及び2回目の接種を受ける方（生後6か月から生後90か月に至るまでの方。標準的な接種年齢は3歳）。及び、3回目及び4回目の接種を受ける方で定期接種として接種が受けられる年齢の上限に近づいている方。

詳細はお住まいの市町村の予防接種担当窓口でご確認ください。

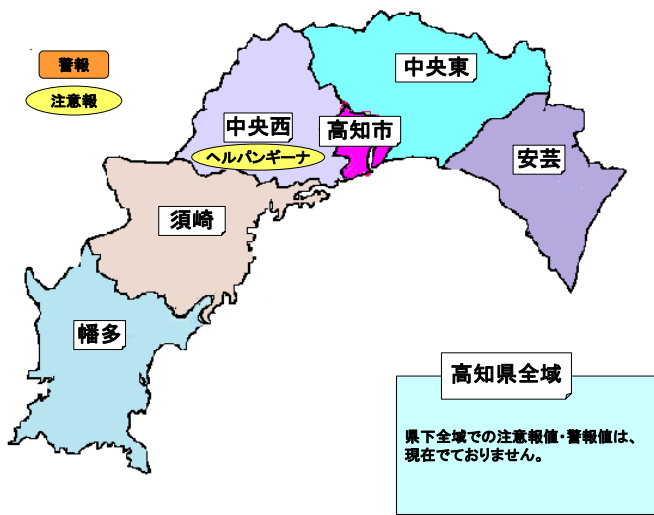
★県内での感染症発生状況

インフルエンザ及び小児科定点把握感染症（上位疾患5疾患）

↑：急増 ↗：増加 →：横ばい ↓：減少 ↓：急減

疾病名	推移	定点当たり報告数	県内の傾向
RSウイルス感染症	→	11.54	高知市、中央西、須崎で減少していますが、幡多で急増、中央東で増加しています。
ヘルパンギーナ	↓	1.50	県全域、中央西、高知市、中央東で減少していますが、須崎、幡多で急増し、中央西では注意報値を超えています。
感染性胃腸炎	↓	1.50	須崎、安芸で急減、県全域、幡多、高知市で減少していますが、中央東で急増、中央西で増加しています。
手足口病	↓	0.96	高知市で急減、県全域、中央東で減少していますが、安芸、中央西で急増しています。
突発性発疹	→	0.43	須崎で急減、中央西、高知市で減少していますが、安芸、幡多で急増しています。

★地域別感染症発生状況



【感染症予防の基本】

手洗い：感染症予防の基本は手洗いです

- ・爪は短く切っていますか？
- ・指輪・時計ははずしていますか？

- ① 石けんを泡立て、てのひらをよくこすります
- ② 手の甲、指の間や指先、ツメの間まで丹念にこすります
- ③ 親指をねじり洗いし、手首も忘れずにあらいます
- ④ 石けんを洗い流し、清潔なタオルで拭き取って乾かします

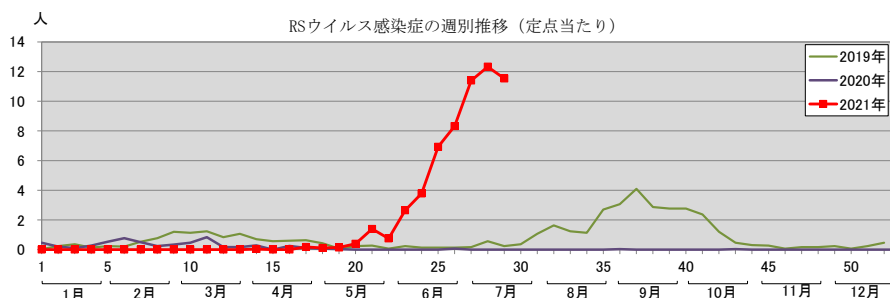
汚れの残りやすいところも丁寧に：指先、指の間、爪の間、親指の周り、手首、手のしわ
タオルの共有は避けましょう



★県内で注目すべき感染症（注意点や予防方法）

○RSウイルス感染症に気を付けて！

この病気は2日～1週間（通常4～5日）の潜伏期間の後に、軽い風邪様の症状で発症し、通常1～2週間で軽快しますが、授乳期早期（生後数週間から数ヶ月）にRSウイルスに初感染した場合は、細気管支炎、肺炎といった重篤な症状を引き起こすことがあります。一方、年長児や成人は、感染しても症状が軽いことが多く、気が付かずに感染源となる可能性があります。また、高齢者においては急性のしばしば重症の下気道炎をおこす原因となるため、特に長期療養施設内での集団発生が問題となる場合があります。



<予防方法>

- ・咳エチケットと手洗いを心がけましょう。

患者の咳、くしゃみなどによる飛沫感染、感染している人との濃厚接触、ウイルスが付着した物品を触ることによる接触感染により感染するので、風邪と同様にマスクの着用（咳エチケット）と手洗いによる予防が有効です。乳幼児への感染を防ぐため、咳などの症状がある人になるべく接触させないようにし、看護する人も手洗いを十分に行ってください。

また、早産児や慢性呼吸器疾患を有するハイリスク児には重症化予防のため、パリビズマブ（抗RSウイルスヒト化モノクローナル抗体）の投与があります。（本剤の添付文書では、投与に際しては学会等から提唱されているガイドライン等を参考とし、個々の症例ごとに本剤の適用を考慮することとされており、保険適用となっています。）

●厚生労働省：RSウイルス感染症 Q&A

https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/rs_qa.html

○夏型感染症（ヘルパンギーナ・手足口病）に気を付けて！

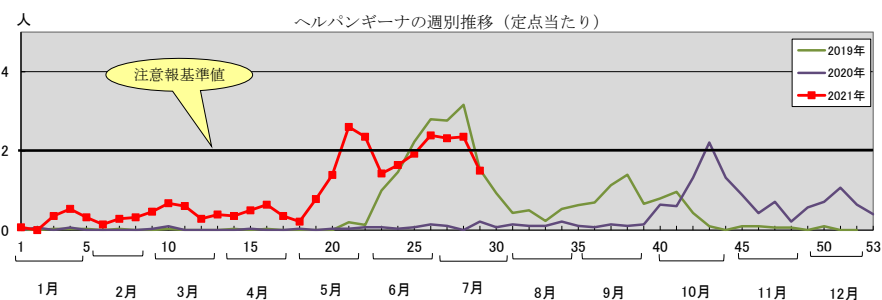
例年、6月頃から5歳以下の乳幼児を中心に報告数が増えはじめ、7～8月頃にピークを迎える夏型感染症の報告数が増加していますので注意しましょう。

これらの病気は、経口・接触感染、咳やくしゃみによる飛沫感染で感染します。手足口病やヘルパンギーナの原因ウイルスであるエンテロウイルスは、回復後も便中から検出されることもあるため、この病気にかかりやすい年齢層の乳幼児が集団生活をしている保育施設や幼稚園などでは注意が必要です。

<ヘルパンギーナ>

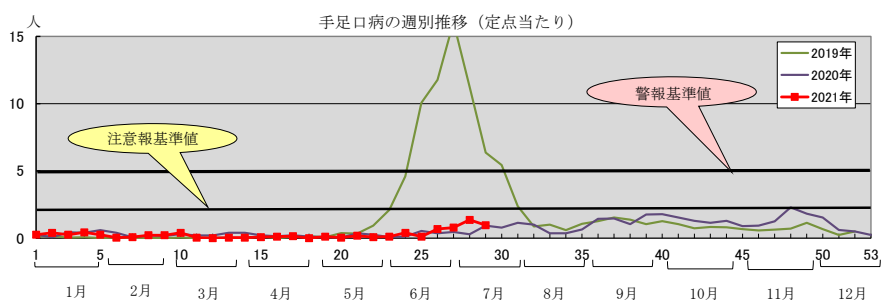
夏から秋にかけて流行する疾患で、発熱と口腔粘膜にあらわれる水疱性の発疹を主症状としたいわゆる「夏かぜ」の代表的疾患です。

2～4日の潜伏期の後、突然の高熱、咽頭痛や咽頭発赤が現れます。口腔内の痛みがあり食事がとり難いため、柔らかく、薄味の食事を工夫し、水分補給を心掛けましょう。



<手足口病>

通常は3～5日の潜伏期をおいて、口の中、手のひら、足の裏や足背などに2～3mmの水疱性発疹ができません。ほとんどの発病者は数日間のうちに治る病気ですが、ごくまれに髄膜炎や脳炎などを生じることがありますので、高熱や嘔吐、頭痛などがある場合は注意してください。



<予防方法>

- ・手洗いが大切です。流水と石けんでよく手を洗いましょう。
- ・タオル・コップ等は別のものを使い、感染者との密接な接触はさけるようにしましょう。
- ・回復後にも2～4週間の長期にわたり便からウイルスが検出されることがあるので、特に、外出後、食事の前、トイレの後に手洗いをしましょう。

【学校感染症】

ヘルパンギーナは学校保健安全法（同法施行規則第19条）では、出席停止期間の基準が「発熱や喉頭・口腔の水疱・潰瘍を伴う急性期は出席停止、治癒期は全身症状が改善すれば登校可能」と規定される学校感染症（第3種）です。ただし、この出席停止期間は病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めるときは、この限りでないとして規定されています。

☆ダニの感染症（日本紅斑熱・SFTS）に注意！

「日本紅斑熱」や「SFTS（重症熱性血小板減少症候群）」は屋外に生息するダニの一種で、比較的大型（吸血前で3～4mm）の「マダニ」が媒介する感染症です。

「マダニに咬まれないこと」がとても重要です。

マダニは、暖かくなる春から秋にかけて活動が活発になります。人も野外での活動が多くなることから、マダニが媒介する感染症のリスクが高まります（全てのマダニが病原体を持っているわけではありません）。

【マダニに咬まれないために】

- 長袖・長ズボン・長靴などで肌の露出を少なくしましょう。
- マダニに対する虫除け剤（有効成分：ディートあるいはイカリジン）を活用しましょう。
- 地面に直接座ったりしないよう、敷物を使用しましょう。
- 活動後は体や衣服をはたき、帰宅後にはすぐに入浴し、マダニに咬まれていないか確認しましょう。
- ペットの散歩等でマダニが付き、家に持ち込まれることがありますので注意しましょう。

発熱等の症状が出たとき

野山に入ってからしばらくして（数日～数週間程度）発熱等の症状が出た場合、医療機関を受診してください。受診の際、発症前に野山に立ち入ったこと（ダニに咬まれたこと）を申し出てください。

- 重症熱性血小板減少症候群（SFTS）に関する Q&A（厚生労働省）

http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/sfts_qa.html

- 高知県衛生環境研究所 ダニが媒介する感染症及び注意喚起パンフレット

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2015111600016.html>

★全数把握感染症

類型	疾病名	件数	累計	内 容	保健所
2類	結 核	1	30	70歳代 男性	中央西
5類	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	4	90歳代 女性	高知市
	水痘（入院例に限る）	1	1	70歳代 女性	
	梅 毒	1	49	50歳代 男性	中央東

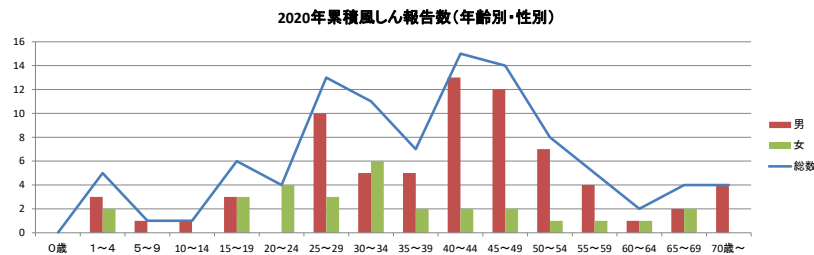
★定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情 報
中央東	早明浦病院小児科	感染性胃腸炎 EcoliO128 1例（1歳男） RSウイルス感染症 2例（3か月女：医療センターに入院、3歳女）
高知市	高知医療センター小児科	サルモネラ菌 1例（2か月男）
	けら小児科・アレルギー科	カンピロバクター腸炎 1例（1歳）
	福井小児科・内科・循環器科	手足口病 5例 ヘルパンギーナ 8例
中央西	くぼたこどもクリニック	ヘルパンギーナ 1例（4歳女：須崎市）
	日高クリニック	アデノウイルス扁桃炎 1例（1歳女）
須 崎	もりはた小児科	RSウイルス感染症発生続くが減少傾向
幡 多	こいけクリニック	ノロウイルス胃腸炎 2例（1歳、2歳）
	さたけ小児科	帯状疱疹 1例（10歳男）
	幡多けんみん病院小児科	ノロウイルス 1例（3歳女）

★県外で注目すべき感染症

○風しん、先天性風しん症候群を予防しましょう

2021年28週までの累積報告数は7人（男性5人、女性2人）、2020年累積報告数は100人（男性71人、女性29人）となっており、そのうち87%（87人）が成人で、25歳から50歳代の男性が中心となっています。



妊婦、特に妊娠初期の女性が風しんにかかると、生まれてくる赤ちゃんにも感染し「先天性風しん症候群」という病気にかかってしまうことがあります。

風しんの予防にはワクチンを接種し、風しんに対する免疫を獲得することが有効です。

風しんに対する十分な免疫があるかどうかは、抗体検査で確認することができます。

赤ちゃんが生まれつきの病気にならないよう家族みんなで風しん抗体検査を受け、免疫がない場合は予防接種を受けることをご検討ください。

【無料の風しんの抗体検査について】

現在県内では2つの事業で「風しん」に対して十分な免疫があるかどうか確認するため無料の抗体検査を実施しています。

- 対象者**
- 高知県内在住（住所を有する者）の妊娠を希望する女性
 - 妊娠を希望する女性または風しんの抗体価が低い妊婦の配偶者など（生活空間を同一にする頻度が高い方。婚姻の届けを出していないが、事実上婚姻関係と同様の事情にある方を含む）
 - 風しんの追加的対策として、1972年（昭和47）年4月2日から1979年（昭和54）年4月1日生まれの男性について、一括してクーポン券を配布
1962（昭和37）年4月2日から1972（昭和47）年4月1日生まれの男性については、本人がクーポン券を希望する場合において、住所地の市町村が個別に発行

検査受付：実施医療機関ごとに異なりますので、受診を希望する医療機関に事前にお問い合わせください
（住所を証明する書類（運転免許証や健康保険被保険者証等）を持参ください）。

検査結果：検査後 1～2 週間後に郵送もしくは再来院にてお知らせいたします。

●厚生労働省「風しんの追加対策について」（風しん抗体検査・風しん第 5 期定期接種受託医療機関）
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaaku-kansenshou/rubella/index_00001.html

●無料の風しん抗体検査の実施及び抗体検査の委託を受けた医療機関（高知県健康対策課ホームページ）
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130401/2020051200219.html>

●風しんの追加的対策 Q&A（対象者向け） <https://www.mhlw.go.jp/content/000493833.pdf>

●風しん Q&A2018 年 1 月 30 日改訂版(国立感染症研究所)
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/rubellaqa.html>

○高知県の新型コロナウイルス感染症情報

高知県庁ホームページ：<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/111301/info-COVIT-19.html>

高知県保健所別新型コロナウイルス感染症報告者数

		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	総計
6月	28 月		5	6	1	1		13
	29 火		3	7				10
	30 水		2	1	1			4
7月	1 木		3	2	1	1		7
	2 金		2	8				10
	3 土		1	1			1	3
	4 日		4	3				7
	5 月			1				1
	6 火		3	4				7
	7 水	1	2	5				8
	8 木		3	6				9
	9 金		2	2				4
	10 土	4	1	4				9
	11 日	3		3	1			7
	12 月			1	1			2
	13 火	1		5				6
	14 水	1		8	1			10
	15 木	1		7			1	9
	16 金		1	12	1			14
	17 土	1		7				8
	18 日		1	7	1		1	10
	19 月	1		2		1	1	5
	20 火		1	3		2	2	8
	21 水			5				5
	22 木			7				7
	23 金		2	5				7
	24 土			2				2
	25 日			5				5
総計		63	253	1382	122	54	120	1994

数字は各地域でその日陽性が確認された数
総計はR2年2月28日以降の報告者数

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生環境研究所）
〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎2階）
TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869

この情報に記載のデータは 2021 年 7 月 26 日現在の情報により作成
しています。調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあ
りますが、その場合週報上にて訂正させていただきます。

★高知県感染症情報
疾病別・地域別報告数

高知県感染症情報(57定点医療機関)

		第29週 令和3年7月19日(月)～令和3年7月25日(日)								高知県衛生環境研究所		
定点名	保健所	安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前週	全国(28週)	高知県(29週末累計) R3/1/4～R3/7/25	全国(28週末累計) R3/1/4～R3/7/18
インフルエンザ	インフルエンザ							()	()	1 ()	4 (0.08)	729 (0.15)
小児科	咽頭結膜熱			1		1		2 (0.07)	9 (0.32)	938 (0.30)	177 (5.90)	21,942 (6.95)
	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	1	1	2		3	4	11 (0.39)	12 (0.43)	1,822 (0.58)	268 (8.93)	57,741 (18.30)
	感染性胃腸炎		13	11	3	1	14	42 (1.50)	55 (1.96)	9,159 (2.90)	3,526 (117.53)	266,202 (84.35)
	水痘					1		1 (0.04)	4 (0.14)	305 (0.10)	97 (3.23)	10,077 (3.19)
	手足口病	3	7	12	4		1	27 (0.96)	38 (1.36)	544 (0.17)	216 (7.20)	5,030 (1.59)
	伝染性紅斑							()	1 (0.04)	24 (0.01)	28 (0.93)	1,425 (0.45)
	突発性発疹	2	3	3	2		2	12 (0.43)	13 (0.46)	1,306 (0.41)	307 (10.23)	35,009 (11.09)
	ヘルパンギーナ	1	12	16	11	1	1	42 (1.50)	66 (2.36)	940 (0.30)	763 (25.43)	5,818 (1.84)
	流行性耳下腺炎			1				1 (0.04)	()	246 (0.08)	16 (0.53)	3,959 (1.25)
	RSウイルス感染症		75	160	22	7	59	323 (11.54)	345 (12.32)	18,915 (5.99)	1,678 (55.93)	135,744 (43.01)
眼科	急性出血性結膜炎							()	()	6 (0.01)	1 (0.33)	65 (0.09)
	流行性角結膜炎							()	1 (0.33)	141 (0.20)	12 (4.00)	3,543 (5.10)
基幹	細菌性髄膜炎		1					1 (0.13)	()	5 (0.01)	3 (0.38)	195 (0.41)
	無菌性髄膜炎							()	()	10 (0.02)	1 (0.13)	255 (0.53)
	マイコプラズマ肺炎							()	()	7 (0.01)	7 (0.88)	442 (0.92)
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)							()	()	1 ()	()	14 (0.03)
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)							()	()	1 ()	3 (0.38)	55 (0.12)
計 (小児科定点当たり人数)	7 (3.50)	112 (15.85)	206 (22.88)	42 (14.00)	14 (7.00)	81 (16.20)	462 (16.47)			34,371	7,107 (235.92)	548,245
前週 (小児科定点当たり人数)	6 (3.00)	99 (14.14)	308 (34.11)	55 (18.33)	23 (11.50)	53 (10.60)		544 (19.39)				

注 ()は定点当たり人数。

高知県感染症情報(57定点医療機関) 定点当たり人数

定点当たり		第29週								高知県衛生環境研究所		
定点名	保健所	安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前週	全国(28週)	高知県(29週末累計) R3/1/4～R3/7/25	全国(28週末累計) R3/1/4～R3/7/18
インフルエンザ	インフルエンザ										0.08	0.15
小児科	咽頭結膜熱			0.11		0.50		0.07	0.32	0.30	5.90	6.95
	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	0.50	0.14	0.22		1.50	0.80	0.39	0.43	0.58	8.93	18.30
	感染性胃腸炎		1.86	1.22	1.00	0.50	2.80	1.50	1.96	2.90	117.53	84.35
	水痘					0.50		0.04	0.14	0.10	3.23	3.19
	手足口病	1.50	1.00	1.33	1.33		0.20	0.96	1.36	0.17	7.20	1.59
	伝染性紅斑								0.04	0.01	0.93	0.45
	突発性発疹	1.00	0.43	0.33	0.67		0.40	0.43	0.46	0.41	10.23	11.09
	ヘルパンギーナ	0.50	1.71	1.78	3.67	0.50	0.20	1.50	2.36	0.30	25.43	1.84
	流行性耳下腺炎			0.11				0.04		0.08	0.53	1.25
	RSウイルス感染症		10.71	17.78	7.33	3.50	11.80	11.54	12.32	5.99	55.93	43.01
眼科	急性出血性結膜炎									0.01	0.33	0.09
	流行性角結膜炎								0.33	0.20	4.00	5.10
基幹	細菌性髄膜炎		1.00					0.13		0.01	0.38	0.41
	無菌性髄膜炎									0.02	0.13	0.53
	マイコプラズマ肺炎									0.01	0.88	0.92
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)											0.03
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)										0.38	0.12
計 (小児科定点当たり人数)	3.50	15.85	22.88	14.00	7.00	16.20	16.47			235.92		
前週 (小児科定点当たり人数)	3.00	14.14	34.11	18.33	11.50	10.60		19.39				

病別年次報告数推移グラフ(インフルエンザ定点・小児科定点・眼科定点)

高知県感染症情報 疾病別年次報告数推移(2021年 第29週)

